(19)日本国特許庁(JP)

(12)登録実用新案公報(U)

(11)登録番号
実用新案登録第3250501号
(U3250501)

(45)発行日　令和7年3月10日(2025.3.10)

(24)登録日　令和7年2月28日(2025.2.28)

(51)国際特許分類

		FI		
A47C	*1/035(2006.01)*	A47C	1/035	
A47C	*4/28 (2006.01)*	A47C	4/28	A
A47C	*7/54 (2006.01)*	A47C	7/54	Z

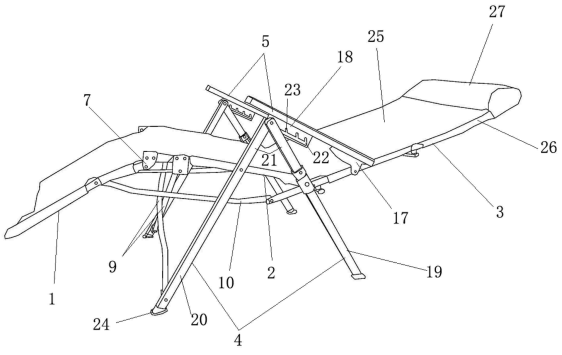
評価書の請求　未請求　請求項の数　9　　ＯＬ　（全8頁）

(21)出願番号　実願2025-93(U2025-93)
(22)出願日　令和7年1月10日(2025.1.10)
(31)優先権主張番号　202423211412.8
(32)優先日　令和6年12月25日(2024.12.25)
(33)優先権主張国・地域又は機関
中国(CN)

(73)実用新案権者　525014665
黄山▲ば▼拉索貿易有限公司
中国安徽省黄山市徽州区城北工業園環城西路３３号徽州電商（跨境）産業園内
(74)代理人　110002262
ＴＲＹ国際弁理士法人
(72)考案者　方 賓
中国安徽省黄山市徽州区城北工業園環城西路３３号徽州電商（跨境）産業園内

(54)【考案の名称】　三区切り式折り畳み寝椅子

(57)【要約】　（修正有）
【課題】構造全体がシンプルで合理的であり、組立と分解が便利であり、人体工学に適合し、全体的快適性を向上する、三区切り式折り畳み寝椅子を提供する。
【解決手段】寝椅子のフレームと布地２５を含み、フレームは三区切り式構造となり、足支え区切り１、大腿区切り２、背もたれ区切り３からなり、連結部材によって接続され、足支え区切りは寝椅子の底部に位置されて足部位を支え、大腿区切りは寝椅子の中間部位に位置されて大腿部を支え、背もたれ区切りは寝椅子の最上に位置されて背部および頭部を支える。それぞれの区切りは対称する二本のサイド棒とこの二本のサイド棒を接続する連結棒からなり、サイド棒と連結棒によって全揃いの寝椅子フレームを構成し、寝椅子フレーム上には布地が被されて寝椅子の寝表面を形成し、大腿区切り及び／または背もたれ区切り上には支持脚４と手すり５と調節機構が設置される。
【選択図】図１



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
寝椅子のフレームと布地を含み、そのうち、寝椅子のフレームは三区切り式構造となり、前記三区切り式構造はそれぞれ足支え区切り、大腿区切り、背もたれ区切りからなり、それらは連結部材によって接続されており、前記足支え区切りは寝椅子の底部に位置されて足部位を支える役目をし、前記大腿区切りは寝椅子の中間部位に位置されて大腿部を支える役目をし、前記背もたれ区切りは寝椅子の最上に位置されて背部および頭部を支える役目をしており、それぞれの区切りはいずれも互いに対称する二本のサイド棒とこの二本のサイド棒を接続する連結棒からなり、サイド棒と連結棒によって全揃いの寝椅子フレームを構成し、前記寝椅子フレーム上には布地が被されて寝椅子の寝表面を形成し、前記大腿区切り及び／または前記背もたれ区切り上には支持脚と手すりが設置され、手すり上には調節機構が設置される、ことを特徴とする三区切り式折り畳み寝椅子。
【請求項２】
前記連結部材は凹型またはＵ型構造の連結ブッシュであり、計２セット設置され、それぞれ背もたれ区切りと大腿区切りの上方を接続するの第一連結ブッシュおよび大腿区切りの下方と足支え区切りを接続する第二連結ブッシュであり、そのうち、背もたれ区切りの下方は第一連結ブッシュの内側を通り抜けてその末端が露出され、第一連結ブッシュ中に残される棒の区切りは第一連結ブッシュと固定接続され、隣接する大腿区切りの上方は連結軸によって回転できるように第一連結ブッシュのブッシュ口に設置され、前記足支え区切りの一端は連結軸によって回転できるように第二連結ブッシュのブッシュ口に設置され、第二連結ブッシュの内側には隣接する大腿区切りの下方が固定設置され、且つ大腿区切りの下方の末端は第二連結ブッシュの側面と平行するように配置され、前記連結棒は足支え区切りや、大腿区切り、背もたれ区切り上、または足支え区切りや、大腿区切り、背もたれ区切りの間に設置される、ことを特徴とする請求項１に記載の三区切り式折り畳み寝椅子。
【請求項３】
前記連結棒は３セットの別々の伸縮連結棒からなり、それぞれ背もたれ区切り伸縮棒や大腿区切り伸縮棒、支持伸縮棒であり、３セットの伸縮棒は伸縮機構を形成して、３区切り式寝椅子を一体に伸縮しており、前記支持伸縮棒は同一側の背もたれ区切り下方の末端の露出部と足支え区切りとの間に設置されて、伸縮する時に、支持伸縮棒は上向きに足支え区切りの上昇と背もたれ区切りと大腿区切りとの間にてＮ文字形構造を形成し、前記大腿区切り伸縮棒はＸ型構造を成し、連結軸によって回転できるように大腿区切りのサイド棒の下方と支持棒上に設置され、両側に向かい合って交差するように設置され、伸縮する時に、Ｘ型構造は両側のサイド棒を裏側に近寄せ、前記背もたれ区切り伸縮棒は背もたれ区切りの後方に位置され、第一伸縮棒や第一支持棒、連結部材からなり、連結部材の上方には第一支持棒が接続され、下方には第一伸縮棒が接続され、第一支持棒と第一伸縮棒はいずれも背もたれ区切りのサイド棒上に接続され、且つ連結部材上にはカードスロットが設置され、連結部材が下向きに押さえられると、第一伸縮棒が下向きに収められ、且つ八文字形の開口方向に開かれて、第一支持棒が連結部材内に挿し込まれて固定され、連結部材が上向きに収まると、第一伸縮棒が延ばされ、八文字形の開口は下向きに段々収まれて、背もたれ区切り両側のサイド棒間の距離が段々短くなり、大腿区切りＸ型構造伸縮棒および支持伸縮棒とともに縮まれて、収納が便利になる、ことを特徴とする請求項２に記載の三区切り式折り畳み寝椅子。
【請求項４】
前記連結部材は上連結部材と下連結部材からなり、そのうち、上連結部材はＴ文字形構造を成し、Ｔ文字形上方は一定の弧度が設置され、両側の内部は中空となっており、且つ下方は開放されていて、第一支持棒の設置に用いられ、Ｔ文字形の下方は連結棒が開設され、前記連結棒は下連結部材と固定接続され、下連結部材の左右両側は第一伸縮棒と接続され、第一伸縮棒および第一支持棒と下連結部材や上連結部材および背もたれ区切りのサイド棒との間はいずれも連結軸によって接続されていて、伸縮時の回転に便利であり、前

記第一伸縮棒と第一支持棒との間の背もたれ区切りに位置するサイド棒上には手すりが設置される、ことを特徴とする請求項３に記載の三区切り式折り畳み寝椅子。
【請求項５】
前記手すりの一端は連結ブロックによって背もたれ区切り上に設置され、他の一端は支持脚に接続され、且つ支持脚の接続処には調節ブロックが接続され、調節ブロックによって背もたれ高さを調節する、ことを特徴とする請求項４に記載の三区切り式折り畳み寝椅子。
【請求項６】
前記支持脚は一本の第二伸縮棒と第二支持棒からなり、そのうち、第二支持棒は大腿区切り上に設置され、上方の端部は第二伸縮棒の一端と接続されて逆Ｖ文字形の連結部を成し、連結部処には調節ブロックが設置され、当該調節ブロック上には滑り溝が開設され、滑り溝の上方には斜めに配置されるカードスロットが開設され、連結部処が最前端のカードスロット中に入ると、第二伸縮棒が縮まれ、手すり全体が後ろに移動して背もたれ区切りが倒れて寝椅子状態になり、連結部処が最後端のカードスロット中に入ると、第二伸縮棒が延ばされ、手すり全体が前に移動して背もたれ区切りが起こされて直立状態になる、ことを特徴とする請求項５に記載の三区切り式折り畳み寝椅子。
【請求項７】
前記支持脚の底部には脚座が設置され、脚座のサイズは第二支持棒底部のサイズより大きい、ことを特徴とする請求項６に記載の三区切り式折り畳み寝椅子。
【請求項８】
前記布地は足支え区切りや大腿区切り、背もたれ区切りの向かい合う両側サイド棒処に位置し、裾上げが設置され、当該裾上げはサイド棒を包み、背もたれ区切り両側裾上げ上には頭枕が設置され、足支え区切り底部の両側裾上げ上には蹴り防止裾上げが縫製される、
ことを特徴とする請求項１に記載の三区切り式折り畳み寝椅子。
【請求項９】
前記布地は、亜麻、綿、炭素繊維で作られ、且つ布地上には横縦の模様が開設される、ことを特徴とする請求項１に記載の三区切り式折り畳み寝椅子。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は、寝椅子の技術分野に関し、特に、三区切り式折り畳み寝椅子に関する。
【背景技術】
【０００２】
寝椅子は多機能家具であって、普段家庭に良く使われており、これ他の用途にも良く使われており、ストレス解除や、睡眠にも良く使われている。既存の寝椅子は一般的に折り畳み寝椅子にデザインされているが、通常の寝椅子は以下問題が存在している。その一は既存折り畳み寝椅子は一般的にデザイン上快適性を犠牲して折り畳み機能を実現するので、使用者の体験性が大きく下がる。その二は、折り畳み寝椅子を使用した後、ただ折り畳んで収納するため、全体の体積が依然として大きく、全体的な収納効果が良くない。その三は、既存の折り畳み寝椅子は構造が比較的に煩雑であって、組立と分解（部品の取り換えや布地の取り換え、洗浄など）が不便であって、使用し難い。
【０００３】
本考案は、上記の技術的課題を解決するため、デザイン上３区切り式にして、上記諸問題の解決を図る。
【考案の概要】
【考案が解決しようとする課題】
【０００４】
既存技術に存在する問題を解決するために、構造がよりシンプルで、組立と分解がより便利で、使用の快適性が優れた三区切り式折り畳み寝椅子を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】
【０００５】
寝椅子のフレームと布地を含み、そのうち、寝椅子のフレームは三区切り式構造となり、前記三区切り式構造はそれぞれ足支え区切り、大腿区切り、背もたれ区切りからなり、それらは連結部材によって接続されており、前記足支え区切りは寝椅子の底部に位置されて足部位を支える役目をし、大腿区切りは寝椅子の中間部位に位置されて大腿部を支える役目をし、背もたれ区切りは寝椅子の最上に位置されて背部および頭部を支える役目をしており、それぞれの区切りはいずれも互いに対称する二本のサイド棒とこの二本のサイド棒を接続する連結棒からなり、サイド棒と連結棒によって全揃いの寝椅子フレームを構成し、前記寝椅子フレーム上には布地が被されて寝椅子の寝表面を形成し、前記大腿区切り及び／または背もたれ区切り上には支持脚と手すりが設置され、手すり上には調節機構が設置される三区切り式折り畳み寝椅子。
【０００６】
好ましくは、前記連結部材は凹型またはＵ型構造の連結ブッシュであり、計２セット設置され、それぞれ背もたれ区切りと大腿区切り上方を接続する第一連結ブッシュおよび大腿区切り下方と足支え区切りを接続する第二連結ブッシュであり、そのうち、背もたれ区切りの下方は第一連結ブッシュの内側を通り抜けてその末端が露出され、第一連結ブッシュ中に残される棒の区切りは第一連結ブッシュと固定接続され、隣接する大腿区切りの上方は連結軸によって回転できるように第一連結ブッシュのブッシュ口に設置され、前記足支え区切りの一端は連結軸によって回転できるように第二連結ブッシュのブッシュ口に設置され、第二連結ブッシュ内側には隣接する大腿区切りの下方が固定設置され、且つ大腿区切り下方の末端は第二連結ブッシュの側面と平行するように配置され、前記連結棒は足支え区切りや、大腿区切り、背もたれ区切り上または足支え区切りや、大腿区切り、背もたれ区切りの間に設置される。
【０００７】
好ましくは、前記連結棒は３セットの別々の伸縮連結棒からなり、それぞれ背もたれ区切り伸縮棒や大腿区切り伸縮棒、支持伸縮棒であり、３セットの伸縮棒は伸縮機構を形成して、３区切り式寝椅子を一体に伸縮しており、前記支持伸縮棒は同一側の背もたれ区切り下方の末端の露出部と足支え区切りとの間に設置されて、伸縮する時に、支持伸縮棒は上向きに足支え区切りの上昇と背もたれ区切りと大腿区切りとの間にてＮ文字形構造を形成し、前記大腿区切り伸縮棒はＸ型構造を成し、連結軸によって回転できるように大腿区切りのサイド棒の下方と支持棒上に設置され、両側に向かい合って交差するように設置され、伸縮する時に、Ｘ型構造は両側のサイド棒を裏側に近寄せ、前記背もたれ区切り伸縮棒は背もたれ区切りの後方に位置され、第一伸縮棒や第一支持棒、連結部材からなり、連結部材の上方には第一支持棒が接続され、下方には第一伸縮棒が接続され、第一支持棒と第一伸縮棒はいずれも背もたれ区切りのサイド棒上に接続され、且つ連結部材上にはカードスロットが設置され、連結部材が下向きに押さえられると、第一伸縮棒が下向きに収められ、且つ八文字形の開口方向に開かれて、第一支持棒が連結部材内に挿し込まれて固定され、連結部材が上向きに収まると、第一伸縮棒が延ばされ、八文字形の開口は下向きに段々収まれて、背もたれ区切り両側のサイド棒間の距離が段々短くなり、大腿区切りＸ型構造伸縮棒および支持伸縮棒とともに縮まれて、収納が便利になる。
【０００８】
好ましくは、前記連結部材は上連結部材と下連結部材からなり、そのうち、上連結部材はＴ文字形構造を成し、Ｔ文字形上方は一定の弧度が設置され、両側の内部は中空となっており、且つ下方は開放されていて、第一支持棒の設置に用いられ、Ｔ文字形の下方は連結棒が開設され、前記連結棒は下連結部材と固定接続され、下連結部材の左右両側は第一伸縮棒と接続され、第一伸縮棒および第一支持棒と下連結部材や上連結部材および背もたれ区切りのサイド棒との間はいずれも連結軸によって接続されていて、伸縮時の回転に便利であり、前記第一伸縮棒と第一支持棒との間の背もたれ区切りに位置するサイド棒上には手すりが設置される。

【０００９】
好ましくは、前記手すりの一端は連結ブロックによって背もたれ区切り上に設置され、他の一端は支持脚に接続され、且つ支持脚の接続処には調節ブロックが接続され、調節ブロックによって背もたれ高さを調節する。
【００１０】
好ましくは、前記支持脚は一本の第二伸縮棒と第二支持棒からなり、そのうち、第二支持棒は大腿区切り上に設置され、上方の端部は第二伸縮棒の一端と接続されて逆Ｖ文字形の連結部を成し、連結部処には調節ブロックが設置され、当該調節ブロック上には滑り溝が開設され、滑り溝の上方には斜めに配置されるカードスロットが開設され、連結部処が最前端のカードスロット中に入ると、第二伸縮棒が縮まれ、手すり全体が後ろに移動して背もたれ区切りが倒れて寝椅子状態になり、連結部処が最後端のカードスロット中に入ると、第二伸縮棒が延ばされ、手すり全体が前に移動して背もたれ区切りが起こされて直立状態になる。
【００１１】
好ましくは、前記支持脚の底部には脚座が設置され、脚座のサイズは第二支持棒底部のサイズより大きい。
【００１２】
好ましくは、前記布地は足支え区切りや大腿区切り、背もたれ区切りの向かい合う両側サイド棒処に位置し、裾上げが設置され、当該裾上げはサイド棒を包み、背もたれ区切り両側裾上げ上には頭枕が設置され、足支え区切り底部の両側裾上げ上には蹴り防止裾上げが縫製される。
【００１３】
好ましくは、前記布地は、亜麻、綿、炭素繊維で作られ、且つ布地上には横縦の模様が開設される。
【考案の効果】
【００１４】
本考案によってデザインされた折り畳み寝椅子は三区切り式構造となり、それぞれ、足支え区切りや大腿区切り、背もたれ区切りを含み、且つそれぞれ背もたれ伸縮棒や大腿区切り伸縮棒、支持伸縮棒が設置されて、全体の開きと折り畳みおよび収納の便利を図る。収納する時に、足支え区切りや大腿区切りや背もたれ区切りを折り畳むと同時に、三本の独立の伸縮連結棒がそれぞれと縮まされて、収納後の地面を占める面積がより小さくなり、且つ当該寝椅子の全体構造がシンプルになり、組立と分解がより便利になる。寝椅子フレームの外側には布地が被覆されるが、本考案の折り畳みが可能である寝椅子の全体的曲線は人体工学の要求により適合するようになっており、且つ手すりや頭枕および蹴り防止裾付けが設けられ、布地は亜麻、綿、炭素繊維で作られているので、使用者の座りまたは寝る時の快適性を保証することができる。
【図面の簡単な説明】
【００１５】
【図１】本考案の使用状態を示す略図である（寝椅子式）。
【図２】本考案の使用状態を示す略図である（座り式）。
【図３】図２の背面図である。
【考案を実施するための形態】
【００１６】
本分野の通常の技術者が分かり易いように、以下に、本考案の課題や、技術手段および長所を図面と実施例を参考しながら、本考案についてさらに詳しく説明する。
【００１７】
本考案実施例において、「上」、「下」、「左」、「右」、「内」、「外」、「横方向」、「縦方向」などの用語は示される方位または位置関係が図面に示されている方位または位置関係に基づき、ただ本考案を説明するためのものであって、装置または部材が必ず特定の方位を持たなければならないとのことを指示または暗示することではないので、本

考案を制限するものであると理解してはならない。

【００１８】

以下図面を参照しながら本考案を詳しく説明する。図１～図２に示されているとおり、三区切り式折り畳み寝椅子は、寝椅子のフレームと布地２５を含み、そのうち、寝椅子のフレームは三区切り式構造となり、前記三区切り式構造はそれぞれ足支え区切り１、大腿区切り２、背もたれ区切り３からなり、それらは連結部材によって接続されており、前記足支え区切り１は寝椅子の底部に位置されて足部位を支える役目をし、大腿区切り２は寝椅子の中間部位に位置されて大腿部を支える役目をし、背もたれ区切り３は寝椅子の最上に位置されて背部および頭部を支える役目をしており、それぞれの区切りはいずれも互いに対称する二本のサイド棒とこの二本のサイド棒を接続する連結棒からなり、サイド棒と連結棒によって全揃いの寝椅子フレームを構成し、前記寝椅子フレーム上には布地が被覆されて寝椅子の寝表面を形成し、前記大腿区切り２及び／または背もたれ区切り３上には支持脚４と手すり５が設置され、手すり５上には調節機構が設置される。

【００１９】

本考案にデザインされた折り畳み寝椅子は、三区切り式構造を成し、それぞれ、足支え区切り、大腿区切り、背もたれ区切りであり、且つ寝椅子には手すりが設置されていて、使用者の使用時の快適性を大きく向上できるので、使用者の使用体験を大きく向上させることができる。

【００２０】

前記連結部材は凹型またはＵ型構造の連結ブッシュであり、計２セット設置され、それぞれ背もたれ区切り３と大腿区切り２の上方を接続する第一連結ブッシュ６および大腿区切り２の下方と足支え区切り１を接続する第二連結ブッシュ７である。そのうち、背もたれ区切り３の下方は第一連結ブッシュ６の内側を通り抜けてその末端が露出され、第一連結ブッシュ６中に残される棒の区切りは第一連結ブッシュ６と固定接続され、隣接する大腿区切り２の上方は連結軸によって回転できるように第一連結ブッシュ６のブッシュ口に設置され、前記足支え区切り１の一端は連結軸によって回転できるように第二連結ブッシュ７のブッシュ口に設置され、第二連結ブッシュ７の内側には隣接する大腿区切り２の下方が固定設置され、且つ大腿区切り２の下方の末端は第二連結ブッシュ７の側面と平行するように配置され、前記連結棒は足支え区切り１や、大腿区切り２、背もたれ区切り３の上または足支え区切り１や、大腿区切り２、背もたれ区切り３の間に設置される。

【００２１】

図３に示されているとおり、前記連結棒は３セットの別々の伸縮連結棒からなり、それぞれ背もたれ区切り伸縮棒８や大腿区切り伸縮棒９、支持伸縮棒１０であり、３セットの伸縮棒は伸縮機構を形成して、３区切り式寝椅子を一体に伸縮しており、前記支持伸縮棒１０は同一側の背もたれ区切り３下方の末端の露出部と足支え区切り１との間に設置されて、伸縮する時に、支持伸縮棒１０は上向きに足支え区切り１の上昇と背もたれ区切り３と大腿区切り２との間にてＮ文字形構造を形成し、前記大腿区切り伸縮棒９はＸ型構造を成し、連結軸によって回転できるように大腿区切り２のサイド棒の下方と支持棒上に設置され、両側に向かい合って交差するように設置され、伸縮する時に、Ｘ型構造は両側のサイド棒を裏側に近寄せ、前記背もたれ区切り伸縮棒８は背もたれ区切り３の後方に位置され、第一伸縮棒１１や第一支持棒１２、連結部材からなり、連結部材の上方には第一支持棒１２が接続され、下方には第一伸縮棒１１が接続され、第一支持棒１２と第一伸縮棒１１はいずれも背もたれ区切り３のサイド棒上に接続され、且つ連結部材上にはカードスロット１３が設置され、連結部材が下向きに押さえられると、第一伸縮棒１１が下向きに収められ、且つ八文字形の開口方向に開かれて、第一支持棒１２が連結部材内に挿し込まれて固定され、連結部材が上向きに収まると、第一伸縮棒１１が延ばされ、八文字形の開口は下向きに段々収まれて、背もたれ区切り３両側のサイド棒間の距離が段々短くなり、大腿区切りＸ型構造伸縮棒および支持伸縮棒１０とともに縮まれて、収納が便利になる。

【００２２】

本考案にはそれぞれ背もたれ区切り伸縮棒、大腿伸縮棒、支持伸縮棒が設置されて、全

体の開きと折り畳みおよび収納を便利にすることに用いられ、収納の際、足支え区切りや大腿区切り、背もたれ区切りを折り畳むと同時に、３本の独立した伸縮棒は収縮されて、全体の収納後の地面を占める面積がより小さくなり、且つこのデザインは本考案寝椅子の全体構造をよりシンプルにさせ、組立と分解をより便利にする。

【００２３】

前記連結部材は上連結部材１４と下連結部材１５からなり、そのうち、上連結部材１４はＴ文字形構造を成し、Ｔ文字形上方は一定の弧度が設置され、両側の内部は中空となっており、且つ下方は開放されていて、第一支持棒１２の設置に用いられ、Ｔ文字形の下方は連結棒１６が開設され、前記連結棒１６は下連結部材１５と固定接続され、下連結部材１５の左右両側は第一伸縮棒１１と接続され、第一伸縮棒１１および第一支持棒１２と下連結部材１５や上連結部材１４および背もたれ区切り３のサイド棒との間はいずれも連結軸によって接続されていて、伸縮時の回転に便利であり、前記第一伸縮棒１１と第一支持棒１２との間の背もたれ区切り３に位置するサイド棒上には手すり５が設置される。

【００２４】

前記手すり５の一端は連結ブロック１７によって背もたれ区切り３上に設置され、他の一端は支持脚４に接続され、且つ支持脚４の接続処には調節ブロック１８が接続され、調節ブロック１８によって背もたれ高さを調節する。前記支持脚４は一本の第二伸縮棒１９と第二支持棒２０からなり、そのうち、第二支持棒２０は大腿区切り２上に設置され、上方端部は第二伸縮棒１９の一端に接続されて、逆Ｖ文字形の連結部２１を成し、当該連結部２１の連結部処には調節ブロック１８が設置され、当該調節ブロック１８上には滑り溝２２が設置され、滑り溝２２の上方には斜めに配置されるカードスロット２３が開設され、連結部処が最前端のカードスロット２３中に入ると、第二伸縮棒１９が縮まれ、手すり５全体が後ろに移動して背もたれ区切り３が倒れて寝椅子状態になり、連結部２１の連結部処が最後端のカードスロット２３中に入ると、第二伸縮棒１９が延ばされ、手すり５全体が前に移動して背もたれ区切り３が起こされて直立状態になる。

【００２５】

前記支持脚４の底部には脚座２４が設置され、脚座２４のサイズは第二支持棒２０底部のサイズより大きい。前記布地２５は足支え区切り１や大腿区切り２、背もたれ区切り３の向かい合う両側サイド棒に位置し、裾上げ２６が設置され、当該裾上げ２６はサイド棒２９を包み、背もたれ区切り３両側裾上げ上には頭枕２７が設置され、足支え区切り１底部の両側裾上げ上には蹴り防止裾上げ２８が縫製される。

【００２６】

本考案の折り畳みが可能である寝椅子の全体的曲線は人体工学の要求にもっと適合するようになっており、且つ手すりや頭枕および蹴り防止裾付けが設けられ、布地は亜麻、綿、炭素繊維で作られるので、使用者の座りまたは寝る時の快適性を保証できる。脚座の設置は支持脚全体の強度および滑り防止性能を大きく向上して、使用者使用時の安全と快適性を保証できる。

【００２７】

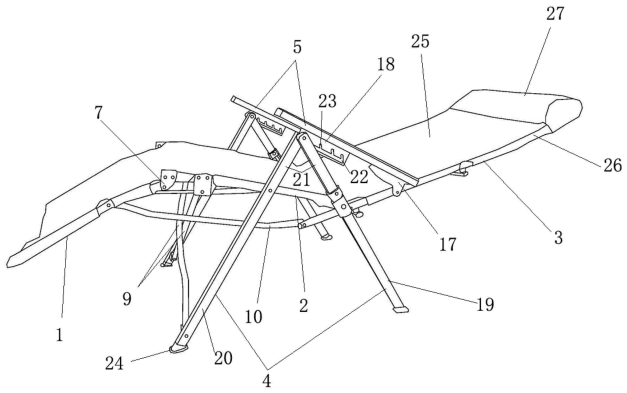
前記布地２５は、亜麻、綿、炭素繊維で作られ、当該布地は使用者の座りまたは寝る時の快適性を大きく向上し、且つ布地２５上には横縦の模様（図には示されていない）が開設されて、全体の摩擦力を高める用途に用いられ、使用者が寝る時に下に滑らないようにして、使用者の快適性を保証する。

【００２８】

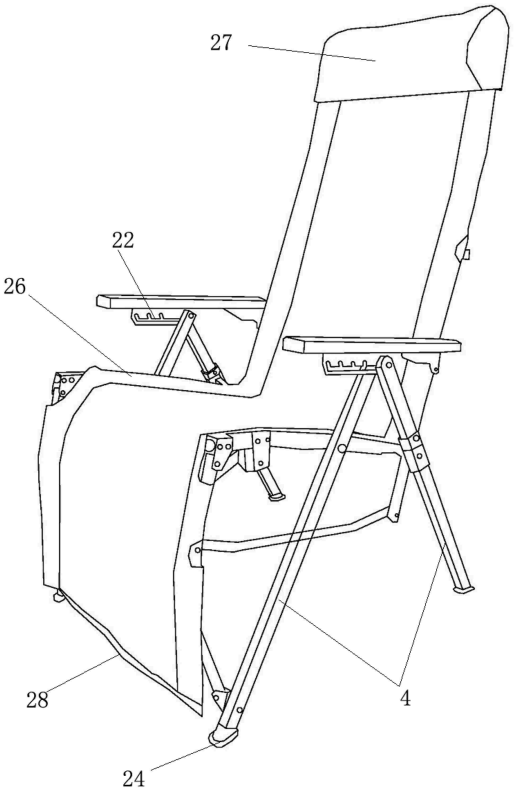
本書に記載の具体的な実施形態はただ本考案の原理及び効能を例を挙げて説明するものであって、本考案を制限するものではない。この分野に従事する通常の技術者が本考案の宗旨および範囲を離れずに、上記実施例を修飾または変更することができる。そのため、本考案の技術分野にて通常の知識を持つ技術者が本考案に記載の宗旨と技術的思想を離れずに、実施されたすべての修飾または変更は、いずれも本考案の権利請求範囲に収まる。

【図面】

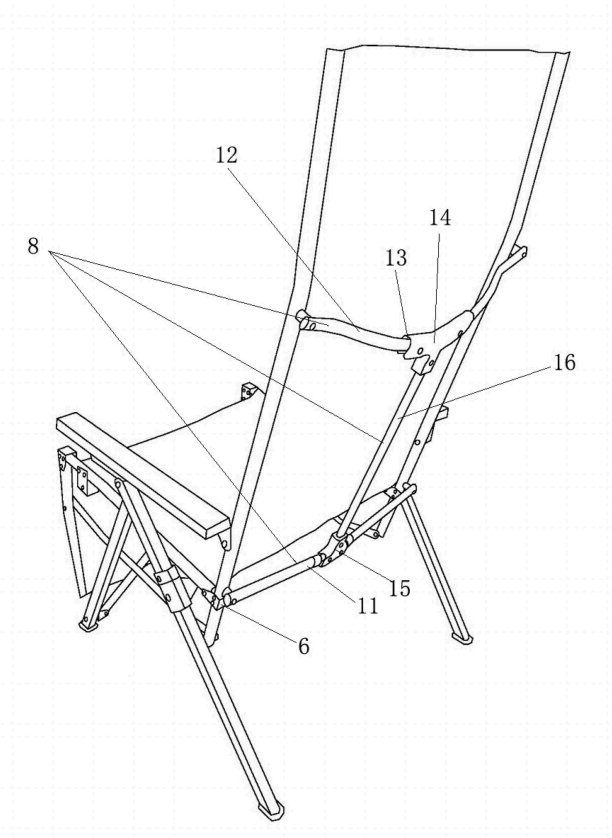
【図１】


27
5
25
18
23
7
26
21
22
17
3
9
10
2
19
1
24
20
4

【図２】


27
22
26
28
4
24

【図３】


12
14
8
13
16
15
11
6